

新年あけましておめでとうございます。昨年は新川の新しいビジョン策定のためにまち協構成団体の皆様には何度もお運びいただき、協議を重ねていただいたおかげでこれからの新川地区の道しるべとなるビジョンが完成いたしました。この場を借りて感謝申し上げます。

今年は元旦から大荒れの天候で、除雪作業に汗を流した方も多かったことと思います。

今年は「寅年」、十干十二支では壬寅(みずのえ・とら)の年であります。壬寅の年は「陽気を孕み、春の胎動を助く」年といわれております。「冬が厳しいほど、春の芽吹きは生命力にあふれ華々しく生まれる、新しい成長の礎となる年」という意味だそうです。

先日秋元札幌市長の年頭あいさつの中でも、市制施行 100 周年を迎える札幌市が、今後さまざまな課題を解決しながら、魅力的な札幌の街を、持続可能な形で次の世代につなげていくためのスタートとして、礎を築く年にしていきたいという思いで選ばれた今年の一文字が、「礎」でしたが、まさに新川地区にとっても厳しい冬を乗り越え、新しい成長の礎となる一年になるよう、決意を新たに進んでまいりたいと思いますので、引き続きご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和 4 年 1 月 11 日

新川まちづくり協議会
会長 佐久間 五十也